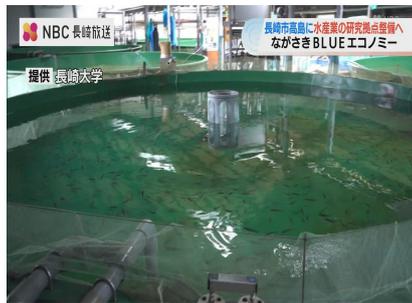


モジャコ(ブリの幼魚)潤沢



今年の天然モジャコ(ブリの幼魚)の採捕はおおむね順調だそうです。鹿児島、大分、高知等では採捕計画数に対する充足率は7割強の高水準です。前期の採捕実績の9割を超える状態で生産側としてはひとまず、安心といったところのようです。モジャコは毎年春に東シナ海から日本各地の沿岸に來遊し、養殖用の種苗として採捕、販売されています。

ブリも完全養殖へ



長崎大学では陸上養殖システムでブリの完全養殖実現に向けて始動しました。稚魚育成用と親魚育成用のそれぞれの水槽が稼働。現在育成中の稚魚は同県の水産センターで採卵、ふ化したものだそうです。3月時点で体長6cmほどの魚体が5月現在では15cm近くにまで成長しています。稚魚が卵を持つまで2~3年かかるそうです。良質な種苗を安定的に生産し、国内をはじめ増加する海外需要にも対応していきたいとしています。

入荷状況

魚種	産地
★スズキ	石川、
★トビウオ	石川、富山
キス	石川
★岩カキ	石川、
サザエ	石川
フクラギ(ブリの幼魚)	石川、富山
サワラ(サゴシ)	石川
★メジ	石川、九州



養殖魚

この時期カンパチは高値推移。

岩カキ(夏カキ)

8月末までが漁期です。

3L(500g)サイズ(能登産)

活ハモ

梅雨時が一番美味しい時期。愛媛産、関西圏からの入荷です。韓国産は脂ののりが良いとされています。



イカ類

アカイカは九州から入荷があります。地物はまだ少なめ。

アオリイカの入荷あり。



石川県能登エリアの主要港の状況

依然として輪島港は出漁できていません。蛸島、宇出津は操業可能で入荷があります。その他、七尾、富来も操業しており、辛うじて能登方面からの魚の供給がある状況です。多くの船を抱える輪島が操業できていない影響が大きく、量的に不安定な状態が続きます。詳細な情報は営業担当者にお尋ね下さい。



ヤマカ3D ガスエビ

石川県産ガスエビを自社で3D凍結しました。鮮度抜群の商品です。

(1kg 65~75尾)